

CUCM MediaSense 通話録音エラーのトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[組み込みブリッジの基本的な MediaSense コールフロー](#)

[MediaSense の記録無し](#)

[IP Phone 送信トラフィックを確認して下さい](#)

[パケットキャプチャを行って下さい](#)

[トラブルシューティング](#)

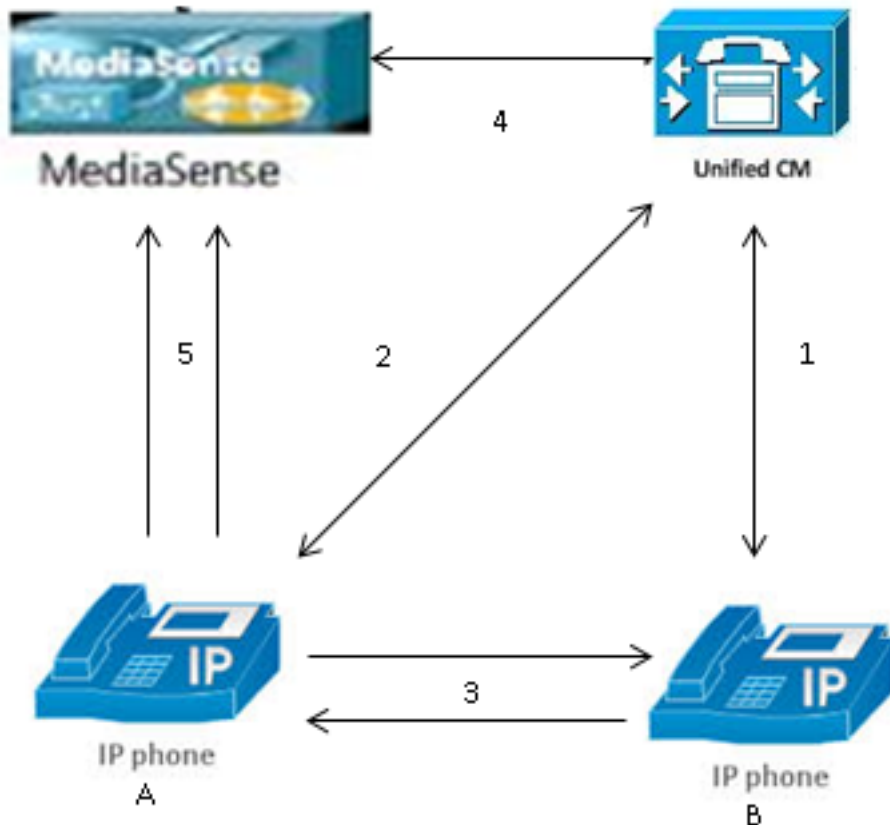
[重要事項](#)

概要

エラーが組み込みブリッジのために記録するコールに現われるときこの資料に MediaSense を解決する方法を記述されています。

組み込みブリッジの基本的な MediaSense コールフロー

このイメージは組み込みブリッジが使用されるとき基本的な MediaSense コールフローを説明します:



注: IP Phone A に有効になる記録があります。

これらのステップはコールフローを記述します:

1. 右の IP Phone は左の IP Phone を呼出し、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) によってコールを開始します。
2. CUCM は宛先電話に場合を送り、コールセットアップを完了します。
3. IP Phone A と IP Phone B 間の接続は今設定されます。
4. IP Phone A の記録プロファイルはコールを受信するとすぐ、CUCM は MediaSense のセッションを設定する必要があると言います。これはミリ秒ステップ 3 が始まった後完了します。
5. コールは 2 台の電話の間で今設定されます、コールは組み込みブリッジによって分岐し、組み込みブリッジは MediaSense サーバに 2 つのリアルタイムトランスポートプロトコル (RTP) ストリームを送信します。

MediaSense の記録無し

MediaSense に記録がないことを示すエラーを受け取れば、ログを調べ、このセッションID を捜して下さい:

```
0000049583: 10.201.227.136: May 28 2014 11:27:09.022 -0400: %CCBU_COMMON-6-VSMS
HTTP Info: {Thrd=Pool-capture-thread-2800} %[HTTP Response Body=<Session>
<diskusage>
```

```
<recording name="78e146437088a93-TRACK0" size="0" repository="/
recordedMedia" />
<recording name="78e146437088a93-TRACK1" size="0" repository="/
recordedMedia" />
</diskusage>
</Session>][HTTP Response Content Type=application/xml][HTTP Response Status
Code=200][logId=close-25668]: VSMS Received HTTP Response
```

この出力の **size="0"** はそのコールのためのサーバに記録されるオーディオがないことを示します。これは一般的に RTP ストリームが電話から MediaSense サーバに到達しなかったことを意味します。これが発生するとき、次のステップは電話が RTP トラフィックを送信することを確認することです。

IP Phone 送信トラフィックを確認して下さい

IP Phone が RTP トラフィックを送信することを確認する簡単は IP Phone Webページを表示することです。これは Phone Configuration ページの内でもまたはバルク Admin によって CUCM で手動で有効になります。

ストリーム 1 は他の IP Phone またはゲートウェイのリモートアドレスとの主要なコールです。これは 2 つのストリームで構成されています: 第 1 は IP Phone で受け取られ、第 2 がもう一方の端に送信されるオーディオのオーディオです。

MediaSense がコールレグの両方を記録することを確認するために、ページが複数回リフレッシュされると送信側パケットが増分することを確認するためにストリーム 2 およびストリーム 3 をクリックして下さい。リモートアドレスはストリーム 2 およびストリーム両方 3.のための MediaSense サーバを示す必要があります。2 つのストリームが MediaSense サーバへあるという原因はそれらの 1 つがストリーム 1 (レシーバパケット) および他で受け取ったオーディオであるであるストリーム 1.のもう一方の端に (送信側パケット) 送信されるオーディオということであるといえます。

注: 以前に記述されている呼び出しフローダイアグラムについて、ステップ 3 はストリーム 1 であり、ステップ 5 の各レグはストリーム 2 およびストリーム 3.を示します。

このキャプチャはストリーム 1 を示します:



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

[Device Information](#)

[Network Configuration](#)

Network Statistics

[Ethernet Information](#)

[Access](#)

[Network](#)

Device Logs

[Console Logs](#)

[Core Dumps](#)

[Status Messages](#)

[Debug Display](#)

Streaming Statistics

[Stream 1](#)

[Stream 2](#)

[Stream 3](#)

[Stream 4](#)

[Stream 5](#)

Remote Address	10.99.23.249/24586
Local Address	10.99.23.250/22576
Start Time	20:55:16
Stream Status	Active
Host Name	SEP0024C4FCFD26
Sender Packets	2550
Sender Octets	438600
Sender Codec	G.722
Sender Reports Sent	0
Sender Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Lost Packets	0
Avg Jitter	0
Rcvr Codec	G.722
Rcvr Reports Sent	0
Rcvr Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Packets	2544
Rcvr Octets	437568

このキャプチャはストリーム 2 を示します:

注: ページのリモートアドレス セクションの IP アドレスおよびポートに注意することは重要です。これはテスト電話呼び出しのためのパケットキャプチャを奪取するとき非常に重要です。



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

[Device Information](#)

[Network Configuration](#)

Network Statistics

[Ethernet Information](#)

[Access](#)

[Network](#)

Device Logs

[Console Logs](#)

[Core Dumps](#)

[Status Messages](#)

[Debug Display](#)

Streaming Statistics

[Stream 1](#)

[Stream 2](#)

[Stream 3](#)

[Stream 4](#)

[Stream 5](#)

Remote Address	10.201.227.147/40676
Local Address	0.0.0.0/0
Start Time	20:55:16
Stream Status	Not Ready
Host Name	SEP0024C4FCFD26
Sender Packets	3273
Sender Octets	562956
Sender Codec	G.722
Sender Reports Sent	0
Sender Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Lost Packets	0
Avg Jitter	0
Rcvr Codec	None
Rcvr Reports Sent	0
Rcvr Report Time Sent	00:00:00
Rcvr Packets	0
Rcvr Octets	0

このキャプチャはストリーム 3 を示します:



Streaming Statistics

Cisco Unified IP Phone CP-7962G (SEP0024C4FCFD26)

Device Information	Remote Address	10.201.227.147/33358
Network Configuration	Local Address	0.0.0.0/0
Network Statistics	Start Time	20:55:16
Ethernet Information	Stream Status	Not Ready
Access	Host Name	SEP0024C4FCFD26
Network	Sender Packets	4217
Device Logs	Sender Octets	725324
Console Logs	Sender Codec	G.722
Core Dumps	Sender Reports Sent	0
Status Messages	Sender Report Time Sent	00:00:00
Debug Display	Rcvr Lost Packets	0
Streaming Statistics	Avg Jitter	0
Stream 1	Rcvr Codec	None
Stream 2	Rcvr Reports Sent	0
Stream 3	Rcvr Report Time Sent	00:00:00
Stream 4	Rcvr Packets	0
Stream 5	Rcvr Octets	0

ストリーム 2 およびストリーム 3 のデータを確認するとき、探すキー事柄は次のとおりです:

- リモートアドレスは MediaSense サーバの IP アドレスです。
- 各ストリームのポート番号はユニークです。
- ページをリフレッシュするとき、送信側パケットの数は増加します。これは RTP パケットが IP Phone によって送信されることを示します。

パケットキャプチャを行って下さい

IP Phone は RTP パケットを送信するかどうかそれでも不確実なら、次の企画はパケットキャプチャを行い、ストリームを再生することです。

パケットキャプチャを行う前に、CUCM のための IP Phone 設定のこれらの設定が有効になるようにして下さい:

- PCポートへのスパン

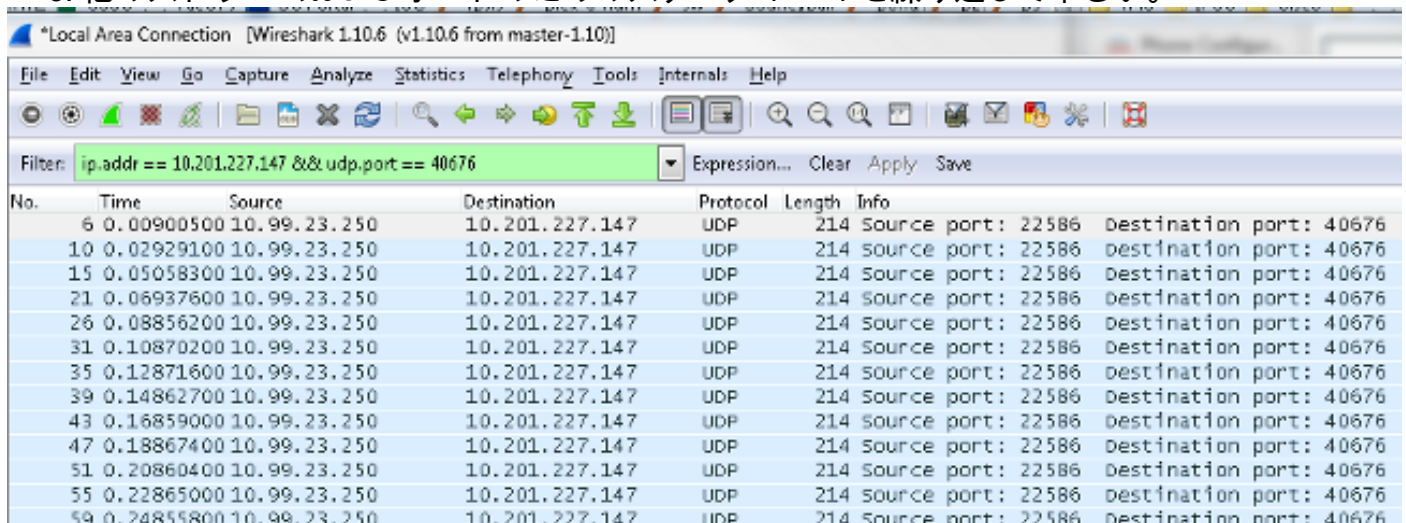
- PC Voice VLAN アクセス
- PCポート

それから、設定を適用し、IP Phone をリセットして下さい。これが完了した後、開いた Wireshark は 30秒 期間のパケットキャプチャを奪取し。ストリーム 2 および疑わしい IP Phone のストリーム 3 のためのリモートアドレス、またポートを記録するようにして下さい。次に、例を示します。

- ストリーム 2 - 10.201.227.147/40676
- ストリーム 3 - 10.201.227.147/33358

パケットキャプチャが完了した、パケットキャプチャを開き、各ストリームのためのこれらのステップを完了して下さい:

1. ip.addr == 10.201.227.147 && udp.port == 40676 によってフィルタリングして下さい。
2. 分析すべきナビゲート > デコードように。
3. ポップアップウィンドウで、RTP を『OK』 をクリック選択して下さい。
4. テレフォニー > RTP > ストリーム 分析へのナビゲート。
5. RTP ストリーム 分析では、プレイヤー > デコード > 演劇にナビゲートし、コールのレグが両方とも聞かれることを確認して下さい。
6. 他のストリームおよびポートのためのステップ 1 ~ 4 を繰り返して下さい。



The screenshot shows the Wireshark interface with the following details:

- Filter: ip.addr == 10.201.227.147 && udp.port == 40676
- Table of captured packets:

No.	Time	Source	Destination	Protocol	Length	Info
6	0.00900500	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
10	0.02929100	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 destination port: 40676
15	0.05058300	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
21	0.06937600	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 destination port: 40676
26	0.08856200	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
31	0.10870200	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 destination port: 40676
35	0.12871600	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
39	0.14862700	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
43	0.16859000	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 destination port: 40676
47	0.18867400	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
51	0.20860400	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	source port: 22586 destination port: 40676
55	0.22865000	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676
59	0.24855800	10.99.23.250	10.201.227.147	UDP	214	Source port: 22586 Destination port: 40676

トラブルシューティング

パケットキャプチャを行った、問題に出会い続ける MediaSense は正しく設定されること、そして IP Phone は MediaSense サーバに有効な RTP ストリームを、および送信すること確認した後そしてサーバと IP Phone 間のパスはチェックする必要があります。

パスにアクセス コントロール リスト (ACL) がないこと、そして RTP トラフィックをブロックしないし、フィルタリングしないようにして下さい。

重要事項

コールが CUCM と設定される疑わしい場合、詳しい CUCM への外観は記録し、MediaSense をログオンします呼び出しIDを見つけるために順序を開きます。これはセッションIDから見つけることができコール制御ログでこれに類似したに検知します:

```
0000049583: 10.201.227.136: May 28 2014 11:27:09.022 -0400: %CCBU_COMMON-6-VSMS
  HTTP Info: {Thrd=Pool-capture-thread-2800} %[HTTP Response Body=<Session>
    <diskusage>
      <recording name="78e146437088a93-TRACK0" size="0" repository="/
recordedMedia" />
      <recording name="78e146437088a93-TRACK1" size="0"repository="/
recordedMedia" />
    </diskusage>
  </Session>][HTTP Response Content Type=application/xml][HTTP Response Status
Code=200][logId=close-25668]: VSMS Received HTTP Response
```

IP Phone が MediaSense の 2 つのストリームを設定するので、オリジナル電話の各レグのための 1 つは、MediaSense セッションがきちんと設定されるかどうか確かめるために呼び出しID の 1 の CUCM ログを検索します。